

令和6年度

試験名:推薦試験【社会国際学群 社会学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
	<p>本問題は、2023年8月末に開業した九州、「日田彦山線 BRT:ひこぼしライン」の開通とその社会的背景について述べた文章を読んでもらい、二つの設問に解答してもらうものである。</p> <p>問題1は、問題文を適切に読みこなす読解力と自分の意見を説得的に述べる論理構成力を評価することを目的とし、問題2は、問題1を踏まえて、解答者の論理構成力に加えて、社会科学的関心・想像力の広さも問うことを目的としている。</p> <p>問題1は、問題文を読んだ上で、問題文に即した形で自分の見解を説得的に述べることができるかどうかを評価した。</p> <p>問題2は、問題1を踏まえた上で、自分が考えられる範囲で何らかの具体的な事例を挙げてもらい、関わりうる主体がいかなるものであるのかを幅広く想像してもらい、ある出来事が社会的にどのような影響をもたらし得るのかを論じてもらった。具体的に何を挙げてもらうのかは自由であるが、考えついた事例のスケールの大きさが異なれば、関わる人々や組織の範囲も身近なコミュニティレベルから政府レベルまで異なり得るため、議論の方向性も大きく異なると考えられる。評価のポイントは、議論を具体的事例で裏付ける能力とどのような人々や組織に対していかなる影響があらわれ得るのか、あるいはいかなる反応がもたらされるのかを多角的に説得的に論じる能力である。</p>